

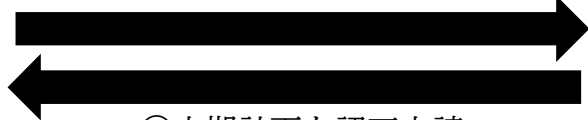
公立大学法人札幌市立大学 第四期中期計画の概要

1 中期目標と中期計画について



札幌市

- ①中期目標を指示
- ③中期計画を認可



札幌市立大学

- ②中期計画を認可申請

	札幌市	札幌市立大学
中期目標	6年間で達成すべき業務運営の目標を定め、法人に指示（議決事項）	
中期計画	認可（議決不要）	中期目標を達成するための中期計画を作成し、札幌市へ認可申請
その他	運営費交付金を交付	自主性、自律性その他大学における教育及び研究の特性が尊重される（教育基本法7）

2 大学の理念・目的

理念	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人間重視を根幹とした人材の育成 ■ 地域社会への積極的な貢献
目的	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学術研究の高度化に対応した職業人の育成 ■ 知と創造の拠点

3 第四期中期目標・中期計画期間

- 令和6年4月1日～令和12年3月31日

4 第三期中期目標・計画策定時からの状況の変化

- 情報通信分野等の技術革新に対応した実践能力を備える人材の育成や市政課題解決の研究力向上等を目的にAITセンターを設置
- 「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」策定。地域に根差した公立大学として、各プロジェクト等への貢献が求められる。

5 中期目標のポイントと中期計画の取組の関連性

	中期目標のポイント	中期計画の主な取組※2
教育	<ul style="list-style-type: none"> ■ DNA連携※1の推進により、幅広い教養やAI・ITの活用力、環境共生の知見を備えた人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ■ <u>デザイン・看護の専門性に、AI・ITを組み合わせて活用できる人材の育成</u>
研究	<ul style="list-style-type: none"> ■ 第2次戦略ビジョンを踏まえた社会課題解決に資する研究 ■ DNA連携による先進的で質の高い研究 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学内競争的資金や個人研究費等を活用し、札幌市の社会課題解決に資する研究を推進 ■ <u>DNA連携による研究の推進等により、受託・共同研究等外部資金獲得につなげる</u>
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ■ 知的資源の還元や札幌市との緊密な連携により、健康寿命の延伸、防災・減災の推進及び地域コミュニティの振興に貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 看護コンソーシアム事業において大規模災害対応プログラムを新規展開 ■ <u>保健師養成に特化した教育により、地域の暮らしを支える高度な保健師を輩出</u>
大学運営	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学ぶ意欲がある社会人等を対象とした学び直しの機会を提供 ■ 戦略的な広報によるプレゼンスの向上 ■ デジタル化による業務改善及び業務効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ デジタルや看護分野のスキル習得プログラム等、学び直しの機会を提供 ■ 戦略的かつ効果的な広報活動を展開 ■ <u>デジタル化に必要な情報基盤整備、システム導入等</u>

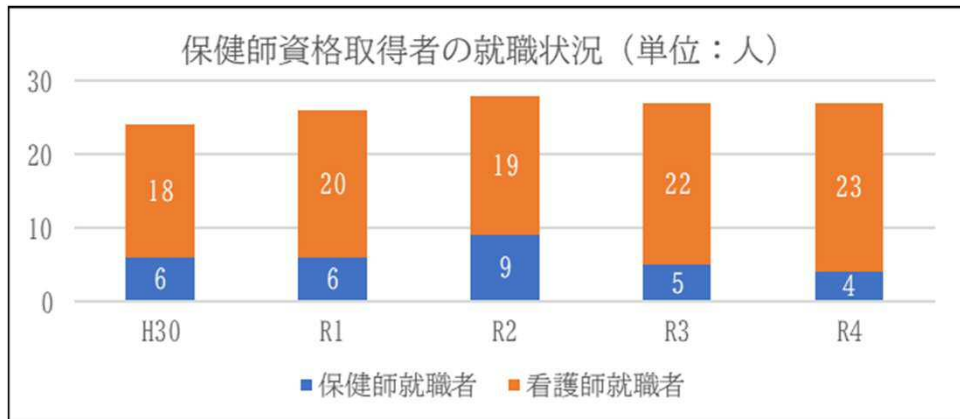
※1 D（デザイン）とN（看護）にA（AI・IT）を掛け合わせた連携により、先進的な研究や教育の質の更なる向上を目指す取組

※2 下線部の取組は、第四期中期計画における重点取組（次頁に詳細を記載）

①公衆衛生看護学専攻科の開設（R8年開設）

<事業内容>

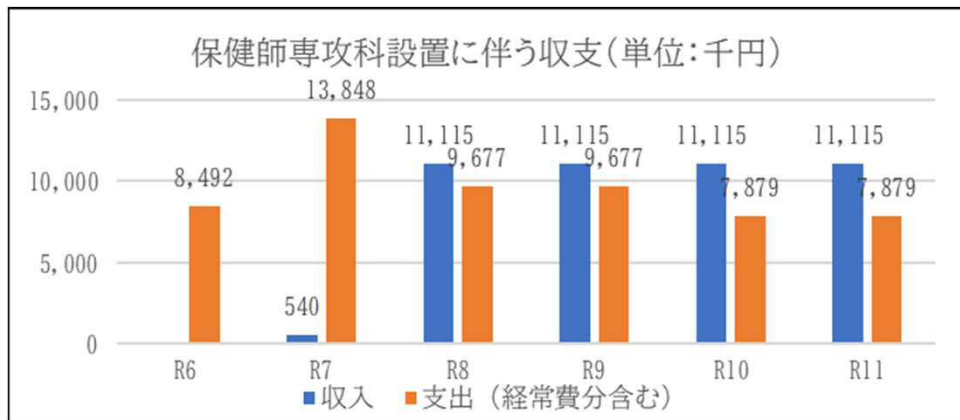
- 保健師養成に特化した教育を実現し、地域の暮らしを支える高度な支援技術や政策形成能力を有する高度な保健師を輩出
- 保健師就業率の向上（現状、毎年30名弱の保健師を養成しているが、保健師として就業する者は、25%前後）



<事業効果>

- 専攻科入学生は、看護師免許取得済みであることに加え、実習先の年度計画に合わせて柔軟に実習期間を設定できるため、高度保健師育成に資する実践的な教育や実習が可能
- 専攻科とすることにより、より固い意思と志をもった学生の入学が見込まれ、保健師就業率の向上が期待できる。

<事業規模（千円）> ※中期計画予算



※収入は入学定員15名想定による入学試験検定料、入学料、授業料の合計額

②AITセンターの運営

<事業内容>

- 札幌市立大学の特徴であるデザインと看護にAIを掛け合わせたDNAを掲げ、AIを取り入れた教育・研究・地域貢献を推進

教育	AI・IT分野の技術革新に対応し、地域や仕事の現場で活躍できる実践能力を備えた専門職業人の育成
研究	「D(デザイン)×N(看護)」の特色にAIを取り入れた、社会において有用性の高い研究の実践
地域貢献	市の事業・施策の推進に寄与する研究の実施（シンクタンク機能）

<事業効果>

- 情報通信分野等の技術革新に対応した実践能力を備える専門職業人の育成や市政課題の解決に寄与
- 研究者とともに、研究活動の企画・マネジメント、研究成果の活用促進等に従事する人材（URA）を生かし、受託・共同研究等による外部資金獲得や研究機関としての地位向上に寄与

<事業規模（千円）> ※中期計画予算

R6	R7	R8	R9	R10	R11
55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000

③大学DXの推進

<事業内容>

- 教職員の業務効率や学生の利便性向上に資する必要性・重要性の高い項目を洗い出しDX化を推進

<事業効果>

- 教職員の業務効率化が図られることで、教学マネジメント（大学がその教育目的を達成するために行う管理運営）の強化や教職員のワーク・ライフ・バランスの向上に寄与
- 教学マネジメント強化や学生・受験生の利便性向上により、志願者増や優秀な人材の確保・輩出に寄与

<事業規模（千円）> ※中期計画予算

R6	R7	R8	R9	R10	R11
2,618	4,620	0	2,380	0	0